

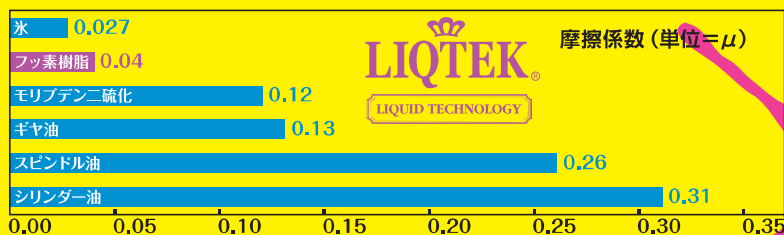
氷の次に滑らか! 摩擦係数0.04 μ

新発売!
¥4,000(税別)

「リキテックM」とは?

酷使されるレースの世界で実績を積んだミッション保護用添加剤です。

新しい添加剤「リキテックM」の主原料「フッ素樹脂」は地球上のすべての単一物質中では、氷の次に滑りに性に優れた物質です。



- ◆摩擦抵抗を減らし、ベアリングやシャフト、ギアの摩擦熱が軽減!
- ◆ミッションケース内を循環することで振動や騒音が減少! パーツの延命効果が期待できます。
- ◆潤滑性が上がり、シフトの入りも良くなり、シフトフィーリングが向上!! 気持ちよく走行できます。
- ◆軸や軸受け部等の摩擦による焼き付きや、歪み、キシミ発生の防止に威力を発揮!!

ミッションオイルに添加することにより、ミッションケース内をオイルと循環し、各部品の金属部の滑り性を向上させ、ドライスタートによる金属剥離を防ぐとともに、ギアの歯飛びや構成パーツの延命効果&ミッションのフリクションロスを減らします。ギアの入りがマイルドになり、油温が低い時でも上がりすぎている時でも、シフトフィーリングを向上させます。特にギアが入りにくいオイルが冷えている時にも、違いを感じて頂けると思います。

安全性にも全く問題はありません。フッ素樹脂自体は、330度以上で熱せられ融解しない限りは他の物質に変化しませんし、他の物質への攻撃性もありませんので、ミッション本体や付属部品への腐食や浸食は考えられません。当然、プラスチックやゴム製品などの硬化や劣化を促進するものでもありませんし、目詰まりや噛み込みの原因にもなりません。製品に自信あります。

ギア回転上々。



- ◆危険有害性情報/GHS分類に該当しない
- ◆絵表示・注意喚起語/なし
- ◆第4種 第4石油類 危険等級Ⅲ

<http://www.liqtek.co.jp>

※本品は、壊れたミッションがよくなる物ではありません!

リキテック

〒812-0020 福岡県福岡市博多区対馬小路 1-21 6F TEL 092-282-1224 FAX 092-282-1228

ミッションの保護用添加剤 “リキテックM”

“リキテックM”とは？

リキテックMは、今までレースなど酷使される世界で使用し、実績を積んできました。リキテックMとは、添加剤が入っていない鉱物油にフッ素樹脂を混ぜ込んだもので、自動車やバイクよりも遥かに大トルクで高熱の摩擦熱が発生する大型の工業用機械や重機で使用されているものを、自動車やバイクにも使えるように改良した新しい商品です。

ミッションオイルに添加することにより、ミッションケース内をオイルと循環して各 부품の金属部の滑り性を向上させドライスタートによる金属剥離を防ぐとともに、ギアの歯飛びや構成パーツの延命効果、ミッションのフリクションロスを減らす新しい添加剤です。

これまで、フッ素樹脂は摩擦係数が氷の次に小さいうえに酸化しない良いものと解っていた反面、他の物質との混合性が弱く、オイルの中ではすぐに沈殿し凝集するという難点がありました。しかし、最近のナノテクノロジーの発展と独自の技術で、オイルの中でも混合し分散するように改良することができました。

2012年11月より、様々なカテゴリーのレース車両をはじめ、商用車や街乗りの自家用車、通勤車等でテスト使用を繰り返してきました。その結果、多くの方から「ギアの入りがマイルドになり、油温が低い時でも上がり過ぎている時でもシフトフィーリングが向上し、ギアが入りにくいオイルが冷えている時にでも違いを体感できた」と好評をいただき、「ミッションの抵抗が減る事により低速域でのトルクの違いが出ているのでは」という声もいただいております。

2013年からS耐でテスト使用を開始、真夏の富士スピードウェイでの長時間使用では、「油温が高めになってもシフトフィーリングがあまり渋くならなかった」との声いただき、メカニックの方からも「抜いたオイルが以前のように濁って無かったので摩擦熱が減るのでしょうか」とも言っていました。又、同じく真冬の北海道の寒冷地での長期テスト使用でも、「油温が低くてもギアの入りがいい！」との高評かを多くいただくことができました。

ミッションが弱いと言われている86/BRZレースでも2015年からテスト使用を開始。「シフトフィーリングが良くなるのはもちろん、ミッションの耐久性もよくなった」との高評かいただいたうえ、使用されたチームは2016年プロクラス・クラブマンクラスでシリーズチャンピオンを獲得されました。しかも、2017年にはクラブマンクラスでリキテックユーザーの方が3年連続でシリーズチャンピオンを獲得されました。

リキテックMは安全性にも全く問題はありません。フッ素樹脂自体は、330度以上で熱せられ融解しない限りは、他の物質に変化しませんし、他の物質への攻撃性もありませんのでミッション本体や付属部品への腐食や浸食は考えられません。もちろん、プラスチックやゴム製品などの硬化や劣化を促進するものでもありません。尚且つ、目詰まりや噛み込みの原因にならないよう、リキテックMに含まれるフッ素樹脂の粒子は大変細かいものになっています。以上のようなことから、これまでリキテックMには不具合などの報告やトラブルはなく、安全性にも自信を持っております。



- 本品を使用される時は、**SDS** を入手し、全ての安全情報を読み理解するまで取扱わないで下さい。取扱う際には、皮膚に触れないよう各保護具を着用して下さい。
- 取扱う際には飲食や喫煙をしないでください。
- リキテック **M** をよく振ってから使用してく

普通、、1レース分の走行距離は、レース前の1テストで、100km、、金曜日に2走行で、70km、、予選で、20km、、決勝で、60kmで、トータル250km、、3500km全開シフトで使い、、計算では、14レース分、、もったねえ、、流石に、Rd. 1モテギの前にミッションは、交換しましたが、、まだ、行けたかなあ、、あまり、添加剤を信じないんですが、、これは、、実証したね。。